

# アメリカ大統領の宗教

アメリカのオバマ大統領は第44代大統領。  
歴代大統領はただ1人、J・F・ケネディ(カトリック教徒)を除いて  
すべての大統領がプロテスタントです。

日本の選挙ではあまり表立って**宗教観**が投票数を左右することはありませんが、  
アメリカの大統領選挙では大きな争点ともなりえます。

1959年のアメリカ大統領選挙を例にあげると、当時の民主党候補ジョン・F・ケネディに対して  
彼がカトリック教徒であるため彼には投票しない、と国民の25%もの方が世論調査で答えました。

2012年の大統領選挙でも同様のことがみられます。  
共和党大統領候補ロムニー氏はモルモン教徒。末日聖徒イエス・キリスト教会という名称で、  
宗教学上はキリスト教の新宗教に分類されます。

かつてモルモン教は一夫多妻制を採用し、異端児とされ迫害を受けたこともありました。  
現在では一夫多妻制を廃止していますが、今でも多少の偏見が残っているとも言われています。

そのせいか世論調査では回答者の約20%がモルモン教徒の候補者には投票しない、  
との結果が。。

さらにロサンゼルス・タイムズ紙では  
「モルモン教に対する偏見がアメリカ政治の重要な要素になっている」とも書かれました。

## では民主党オバマ大統領はどうか

オバマ氏は2008年の大統領選では福音派の票をうまく取り込み、  
大統領選を有利に進めたとも言われています。  
そんなオバマ氏、なんと今回の大統領選では急遽「同性婚支持」を表明。

これは前回の大統領選のキーともなった福音派の多くを敵にまわしかねない発言。  
福音派の中でも近年では同性婚を認める人が多くはなっているそうですが、  
いったいどうなるのか。

今では、笑われてしまいますが、2008年の大統領選挙では、オバマ大統領のミドルネームが「フセイン」  
であるために、彼自身がイスラム教ではないかと、中傷されたこともありました。  
(実は彼の父親はイスラム教徒ですので、厳密に言うと、彼もイスラム教徒であると主張することもできます)

宗教観はアメリカ大統領選では重要な要素となっています。  
日本とはまた異なる選挙の姿をみせており、意外とテレビなどでは報道されない内容ですが、  
しっかりチェックしておきましょう。